

令和5年度に係る全学自己点検・評価（学生支援）の報告書

令和6年9月2日
大学経営戦略会議

1. はじめに

本件は、岡山大学内部質保証規則（令和3年岡大規則第19号）に基づき、実施した学生支援に関する点検・評価の結果を報告するものである。

2. 実施体制・手順

学生支援委員会では、内部質保証に関する推進責任者である理事（教学担当）の指示に基づき、自己点検・評価の実施方針に定める学生支援に関する観点のうち、令和5年度を実施対象とする12項目について、点検・評価を実施した。

3. 総括

令和5年度に係る全学自己点検・評価（学生支援関係）の結果、学生支援の観点12項目のうち9項目について適切と判断し、3項目については、現状の評価においては適切ではあるが、その水準の維持において将来を見据えた懸念・留意事項等を踏まえ「注意が必要」と判断した。

4. 前年度の点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（前年度の点検・評価実施時点で対応済のものを除く。）の対応状況

該当なし

5. 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項のうち主要なもの

該当なし

6. 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題のうち主要なもの

課外活動施設、女子学生寮の老朽化が進み、活動や施設使用に支障をきたしており、本学として、引き続き対応（集約化して建て替える、改修工事を行うなど）を継続検討するとともに、予算要求を計画する必要がある。

また、一部の施設においては、地震等の自然災害による損壊・損傷の恐れもあり、安全面においても、できる限り早急に修繕・補強等の計画、実施を行う必要がある。

7. 点検・評価の結果、「注意が必要」とした事項に対し、維持・向上させるための活動計画のうち主要なもの

- 一部の部局において、就職・進学等進路に関する相談・助言体制の整備が十分とは言えない。キャリアワークショップ、情報交換会、就職・進学に関する講演などの支援を計画的・継続的に実施する必要がある。
- 課外活動施設、女子学生寮の老朽化が進み、活動や施設使用に支障をきたしている。昨年度と同様、大学本部に予算要求を行うとともに、昨年度実施した安全対策に続き、危険度が高い箇所から修理を計画する必要がある。
- 一部の部局において、自己点検・評価の結果に基づく改善に向けた取り組みが十分とは言えない。引き続き、自己点検・評価の結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行う必要がある。

8. 点検・評価の結果、確認された優れた成果が確認できる取組のうち主要なもの

該当なし

以上